

せいぼ ひしやうてん しゆくじつ おおよろこび おいわいもうしあげます  
「聖母の被昇天の祝日」、大喜びにお祝い申し上げます。

Fr.ベルン MSC

こんかい せいぼ ひしやうてん しゆくじつ ふくいしやうきやうく みなさん いっしょ いわう  
今回、「聖母の被昇天」の祝日を、福井小教区の皆さんと一緒に祝うことが  
できなかつた ざんねん  
出来なかつたことは残念ですが、フランスのイスダン(Issoudun)の“聖心の聖母”(Notre  
Dame du Sacré Cœur、ノートルダム・ド・サクロレクール、Our Lady of the Sacred Heart)

みなさん ころ あわせて いのり ささげたい おもいます  
のバシリカ(Basilica)にて、皆さんと心を合わせてごミサと祈りを捧げたいと思います。

ふくいしやうきやうく みなさん はなれて みこころ ふきやうかい そうつち ちゆうしんぶ  
福井小教区の皆さんと離れて、聖心布教会の創立地であるフランスの中心部の  
ちいさいまち  
小さい町、イスダンに、サバティカル(Sabbatical、研修休暇)として、3週間、滞在して、

しゆうどうかいみこころ ふきやうかい せいしん そうつつしゃ しんぶ  
修道会聖心布教会の精神とその創立者ジュール・シュヴァリエ神父(Fr. Jules Chevalier、

1824～1907)の歩みを再学しながら、この祝日を迎えることが出来たのは、何というかあ

ぜいたく  
まりに贅沢なことで、皆さんに申し訳なく思います。しかし、この美しくて荘厳的な“聖心の

せいぼ せかい へいわ ふくいしやうきやうく みなさん ひとり けんこう こうふく  
聖母”のバシリカで、世界の平和、そして福井小教区の皆さん、一人ひとりの健康と幸福

ひしやうてん せいぼ とりつぎ かみさま ふかくねがって  
を、被昇天された聖母マリアの取り次ぎによって、神様に深く願っております。

せいほうきやうかい せいぼ ひしやうてん しゆくじつ いわうしゆうかん せいぎ  
さて、西方教会では、8月15日に聖母の被昇天の祝日を祝う習慣は8世紀から始まった

きやうこう ざい せいぼ  
そうです。そして、1950年11月1日に、教皇ピオ 12 世(在位1939～1958)によって、「聖母

ひしやうてん ぜんせかい むか かって せんげん きやうこう  
の被昇天」は教義とされて、全世界に向かって宣言されました。教皇ピオ12世は、「マリア

れいこん にくたい てん あげられた いわれました せいぼ ひしやうてん しゆくじつ  
が靈魂も肉体もともに天に上げられた」と言われました。ですから、聖母の被昇天の祝日は、

えいこう つつまれて てんごく あげられた きねん いわうしゆくじつ  
マリアが栄光に包まれて、天国へ上げられたことを記念し、祝う祝日です。これは、「おめ

めぐまれた しゆくじつ みさ よむる かふくいんしよ しるしたてんし あいさつ  
でと、恵まれたかた」というこの祝日のミサに読むルカ福音書が記した天使の挨拶にある

かみ あいさつ うけ かみ めぐみ みちた  
ように、マリアが神の挨拶を受け、神がともにおられるという恵みに満ちたものとなります。

ゆえ しよじよ しょうがい もつともふかくむすばれ しご  
その故に、処女マリアの生涯においてキリストと最も深く結ばれ、死後においてもキリストの

ふつかつ えいこう いみ すなわち ふつかつ めぐみ うけ  
復活と栄光にあずかっていることを意味します。即ち、マリアは復活の恵みを受け、キリス

とおしてかみ にんげん かんせい とうたつ  
トを通して神における人間の完成に到達したのです。



聖心の聖母のバシリカ(内)  
フランスのイスダン



「聖母の被昇天」のステンドグラス  
イスダンの「聖心の聖母のバシリカ」  
の堂内

そして、聖母の被昇天は、マリアが神の母であることに由来します。つまり、マリアが神からの特別な召命を受け、神の母になったことが私たち、全世界にとって大きな恵みであるように、マリアの被昇天は、神へと昇る全人類の被昇天のはじまりでもあるのです。

即ち、聖母の被昇天への信仰は、マリアだけが特別な存在だと言い表すのではありません。この信仰は、キリストによる救いにあずかる人たちの象徴として、信じるすべての人たちの救いへの希望も表現するものなのです。これは、この祝日のごミサの集会祈願に、はっきりと示されているのです。

“全能永遠の神よ、あなたは、御ひとり子の母、汚れのないおとめマリアを、からだも魂も、ともに天の栄光に上げられました。信じる民がいつも天の国を求め、聖母とともに永遠の喜びに入ることができますように。”

私たちにもそうでありますように、願い続けております。

「聖母の被昇天の祝日」、おめでとうございます。

2018年8月15日(水)、フランスのイスダンの“聖心の聖母”のバシリカより。